

財政状況等一覧表（平成22年度決算）

(単位:百万円)

団体名 五所川原市

標準税収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
5,684	10,626	1,353	17,662

1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	債務負担行為に基づく支出予定額	備考
一般会計	31,141	30,446	695	655	109	42,073	342	
市立高等看護学院特別会計	103	101	3	3	84	9		
公共用地先行取得事業特別会計	35	35	0	0	35	128		
一般会計等	31,160	30,463	697	658		42,210	342	実質赤字額

①

②

③

④

⑤ (= -②)

※「一般会計等」の数値は、各会計間の繰入・繰出などを控除(純計)したものであることから、各会計間の合計額と一致しない項目がある。

※②が負数の場合のみ

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
水道事業会計	1,478	1,228	250	1,042	1	6,682	0	法適用水道事業会計
工業用水道事業会計	105	64	40	97	10	586	65	法適用工業用水道事業会計
病院事業会計	7,373	7,264	109	△ 220	753	688	516	法適用病院事業会計
下水道事業特別会計	1,176	1,176	0	0	476	7,390	4,900	
特定環境保全公共下水道事業特別会計	58	58	0	0	52	450	446	
農業集落排水事業特別会計	95	95	0	0	58	728	516	
漁業集落排水事業特別会計	36	36	0	0	24	303	248	
国民健康保険事業勘定特別会計	8,082	7,772	310	310	888	50	5	
国民健康保険内科診療施設勘定特別会計	204	199	5	5	73	143	49	
国民健康保険歯科診療施設勘定特別会計	46	43	3	3	24	43	16	
老人保健特別会計	5	5	1	1	0	0	0	
介護保険特別会計	5,649	5,591	58	58	868	0	0	
後期高齢者医療特別会計	503	490	13	13	215	0	0	連結実質赤字額
公営企業会計等 計				1,308		17,063	6,760	

⑧ (= -(②+⑥))

(注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法の全部又は一部を適用している公営企業である。

2. 法適用企業会計以外の特別会計については「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。

3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(△～)で表示している。

4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

※(②+⑥)が負数の場合のみ

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	左のうち一般会計等負担見込額	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
青森県市町村総合事務組合	790	770	20	20	0	0	0	0	
青森県市町村職員退職手当組合	14,060	12,980	1,080	1,080	0	0	0	0	
青森県市長会館管理組合	4	4	0	0	0	0	0	0	
西北五広域福祉事務組合	269	265	4	4	0	0	9	3	
公立金木病院組合	1,885	1,846	39	△ 1,285	801	751	439	176	法適用病院事業会計
西北五環境整備事務組合	2,170	2,103	67	67	0	0	166	43	
津軽広域水道企業団津軽事業部	2,016	1,575	441	2,072	0	0	6,173	0	法適用水道事業会計
津軽広域水道企業団西北事業部	863	773	90	1,567	0	490	4,819	24	法適用水道事業会計
五所川原地区消防事務組合	2,216	2,159	56	22	0	0	285	81	
青森県交通災害共済組合	212	196	17	17	0	0	0	0	
つがる西北五広域連合	265	244	20	20	0	0	0	0	一般会計
つがる西北五広域連合	204	204	0	0	0	125	79	30	法適用病院事業会計
青森県後期高齢者医療広域連合	502	481	21	21	0	5	0	0	一般会計
青森県後期高齢者医療広域連合	140,036	136,879	3,157	3,153	0	3,824	0	0	後期高齢者医療事業会計
一部事務組合等 計				6,758	801		11,881	356	

⑨

⑩

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
五所川原市土地開発公社	△ 9	473	5	0	0	1,038	0	307	
五所川原市自治振興公社	3	37	19	0	0	-	0	0	
五所川原市体育協会	2	36	10	1	0	-	0	0	
十三湖環境整備株式会社	2	29	14	0	0	-	0	0	
市浦畜産振興公社	0	△ 79	13	0	0	-	0	0	
地方公社・第三セクター等 計			61	1	0	1,038	0	307	

⑪

(注) 損益計算書を作成していない社団・財団法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成21年度 決算A	平成22年度 決算B	差引 B-A
財政調整基金	558	1,090	532
減債基金	10	10	0
その他充当可能基金	173	331	158
充当可能基金計	742	1,432	690

(注)「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

(単位: % (財政力指数を除く))

財政指標名	平成21年度 決算A	平成22年度 決算B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成21年度 決算A	平成22年度 決算B	差引 B-A
実質赤字比率 (赤字の場合「△」)	3.46	3.72	0.26	△ 12.61	△ 20.00	病院事業会計	△ 6.8	△ 3.2	3.6
連結実質赤字比率 (赤字の場合「△」)	9.99	11.12	1.13	△ 17.61	△ 35.00	水道事業会計	72.2	72.1	△ 0.1
実質公債費比率	21.2	19.6	△ 1.60	25.0	35.0	工業用水道事業会計	96.2	93.0	△ 3.2
将来負担比率	166.2	156.0	△ 10.20	350.0		下水道事業特別会計	1.1	0.0	△ 1.1
財政力指数	0.35	0.34	△ 0.01			特定環境保全公共下水道事業特別会計	10.1	0.0	△ 10.1
経常収支比率	96.0	93.9	△ 2.10			農業集落排水事業特別会計	22.3	0.0	△ 22.3
						漁業集落排水事業特別会計	58.8	0.0	△ 58.8

- (注) 1. 「実質赤字比率」・「連結実質赤字比率」・「資金不足比率」は負数(△～)で表示しており、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
 2. 早期健全化基準に相当する「資金不足比率」の「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 △20%である(公営競技は0%)。
 3. 「資金不足比率」について、事業の規模が零となる場合には、「※」で表示している。
 4. 「早期健全化基準」及び「財政再生基準」は平成21年度決算による基準である。

【参考】健全化判断比率(実質公債費比率を除く)の算定方法

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{実質赤字額 } \textcircled{5}}{\text{標準財政規模 } \textcircled{1}}$$

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額 } \textcircled{8}}{\text{標準財政規模 } \textcircled{1}}$$

$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額 } \textcircled{13} - \text{充当可能財源等 } \textcircled{14}}{\text{標準財政規模 } \textcircled{1} - \text{算入公債費等の額 } \textcircled{15}}$$

$$\begin{aligned} \cdot \text{将来負担額} &= \textcircled{3} + \textcircled{4} + \textcircled{7} + \text{退職手当負担見込額} + \textcircled{8} + \textcircled{9} + \textcircled{10} + \textcircled{11} + \text{公的信用保証等に係る損失補償見込額} && \text{百万円} \\ & \quad \text{4,239 (百万円)} \quad \quad \quad \text{0 (百万円)} && \text{13} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \cdot \text{充当可能財源} &= \text{充当可能基金 } \textcircled{12} + \text{充当可能特定歳入} + \text{基準財政需要額算入見込額} && \text{百万円} \\ & \quad \text{3,598 (百万円)} \quad \text{27,024 (百万円)} && \text{14} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \cdot \text{算入公債費等の額} &= \text{2,947 (百万円)} && \text{15} \end{aligned}$$